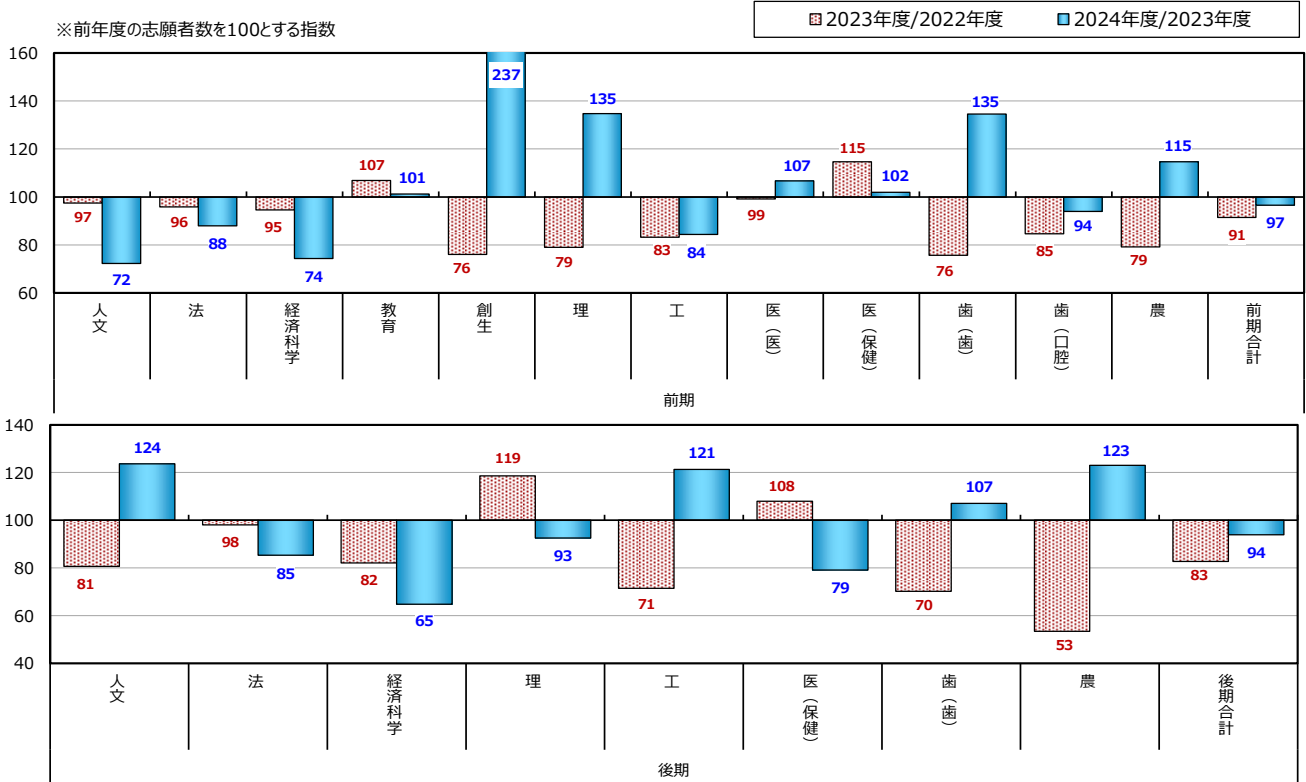


新潟大：前期・後期ともに2年連続減少、文系学部連続減少目立つ 前期：-111人 後期：-120人



COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は 111 人(97)のやや減少で2年連続減少。学部・学科別では、人文(72)、経済科学(74)の大幅減少、法(88)の減少など、文系学部の減少が顕著。なお、人文、経済科学は2年連続減少、法は4年連続減少。また、工(84)も2年連続大幅減少。一方で、創生(237)は倍以上、理(135)、歯(歯)(135)、農(115)は大幅増加、いずれも前年度大幅減少の反動。後期も120人(94)のやや減少で2年連続減少。後期においても経済科学(65)は2年連続大幅減少、法(85)は大幅減少で3年連続減少で文系学部の連続減少が目立った。一方、他の学部・学科はいずれも前年度と逆の増減。

<前期日程>

- 人文(72)は、大幅減少で2年連続減少。志願倍率は2.7倍→1.9倍にダウン、2倍を下回った。
- 法(88)は、4年連続減少。志願者数は募集人員が85人になった2020年度以降で最少。志願倍率も2.2倍→1.9倍にダウンし、2倍を下回った。
- 経済科学(74)は、大幅減少で2年連続減少。志願者数は400人で、学部改組が行われた2020年度以降で最少。
- 教育(101)は、2年連続やや増加の反動はなく前年度並。課程・コース・専修別では、13募集単位中で増加が8募集単位、減少が5募集単位。募集人員が少ない募集単位が多いことから増減が極端になりやすいため、(学校教員養成/学校教育-教育心理学)(111)を除いていずれも大幅な増減。(学校教員養成/教科教育-英語教育)(218)の2年連続となる倍以上が目立った。
- 創生(237)は、前年度まで3年連続減少し、2017年度の学部新設以降初めて志願倍率が2倍を下回った反動から激増。志願倍率は1.6倍→3.8倍にアップし、2017年度の5.1倍に次いで高い倍率となった。
- 理(135)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。前年度2倍を下回った志願倍率は1.6倍→2.1倍にアップし、再び2倍を上回った。
- 工(84)は、2年連続大幅減少。志願者数は600人を下回り、<個別学力検査重視型>、<共通テスト重視型>に分けての募集となった2021年度以降で最少。志願倍率も2.1倍→1.8倍にダウンし、2倍を下回った。
- 医(医)(107)は、やや増加。志願者数は350人を上回り、募集人員が80人になった2020年度以降で最多。
- 医(保健)(102)は、前年度大幅増加の反動はなく前年度並。専攻別では、増加が2専攻、減少が1専攻でいずれも前年度と逆の増減。(保健/放射線技術科学)(264)は激増で4年ぶり増加、(保健/看護学)(109)は増加。一方で、(保健/検査技術科学)(43)は前年度2.7倍増の反動で半減以下。
- 歯(歯)(135)は、3年連続大幅減少の反動で大幅増加。志願倍率は3.5倍→4.7倍にアップ。
- 歯(口腔生命福祉)(94)は、2人の減少だが、2年連続減少。
- 農(115)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。前年度2倍を下回った志願倍率は1.8倍→2.0倍にアップし、再び2倍を上回った。
- 人文(124)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。
- 法(85)は、大幅減少で3年連続減少。
- 経済科学(65)は、2年連続大幅減少。志願者数は350人を下回り、学部改組が行われた2020年度以降で最少。
- 理(93)は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。
- 工(121)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。
- 医(保健)(79)は、大幅減少。専攻別では、3専攻中2専攻が減少。なお、3専攻とも大幅な増減。(保健/検査技術科学)(28)は前年度約2.4倍増の反動で激減、(保健/看護学)(77)は大幅減少で3年連続減少。一方で、(保健/放射線技術科学)(205)は前

度ほぼ半減の反動で倍増以上。

○**歯(歯)(107)**は、前年度大幅減少の反動は小さく、やや増加。

○**農(123)**は、前年度ほぼ半減の反動で大幅増加。2020 年度以降前年度の反動による大幅な増減が継続。